



ふくしま教育ニュース

2020年11月 第55号 編集・発行 福島県教育委員会

探究学習が「シンカ(深化・進化)」しています! ～ふくしま創生人財育成事業～

学校と地域が連携することで、高校生の日々の学びを現実の課題と結びつけ、
地域の一員としての当事者意識を育む取組を実践しています。
今年度、会津地区の県立高等学校2校に、「地域コーディネーター」を配置しました。

取組1 「地域コーディネーター」の配置

葵高等学校

学校と地域をつなぐ視点で「葵ゼミ」の探究学習をサポートしています。出前講座や施設訪問など、学校と地域の資源(ヒト、モノ、コト)をつなぎ、個々の生徒のニーズにも対応しています。



※葵高校は、三菱みらい育成財団助成対象校にも指定されています。

喜多方高等学校

喜多方高校の「総合的な探究の時間」をより充実させるプログラムづくりを教職員とともに進め、喜多方市役所や協力企業等との連絡・調整に加え、新たな連携先も開拓しています。



県立高校の 地域コーディネーター とは

県立高校の「地域コーディネーター」は、各校のニーズと地域のニーズを把握し、交渉や助言、調整などを行い、「地域人材ネットワークバンク」を構築して、探究学習の深化を後押しします。

取組2 ふくしま創生サミット

対 象…全ての県立高等学校の代表生徒
開催方法…10～11月に県内6会場(地区別)で開催しました。
内 容…各校における地域課題探究学習の成果を発表し合い、地域を活性化させるために意見を出し合っ、地区ごとの「宣言」を採択しました。



取組3 ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

対 象…福島県内に在学する高校生等が主体となっているグループまたは個人
開催方法…11月に予選(書類審査)を行い、12月19日(土)に本選(プレゼンテーション形式のコンテスト)をコラッセふくしま(福島市)で開催する予定です。
内 容…まちおこし、伝統文化の継承、高齢者との交流、地元の野菜を活用した製品開発など、「地域や社会を良くしようとする活動」についてのコンテストです。

第7次福島県総合教育計画の策定を進めています

福島県教育委員会では、今年度終期を迎える福島県総合教育計画について、新たな教育計画の策定に向けて、有識者を委員とする策定懇談会を開催し、検討を進めています。

この計画は、本県教育の未来にとって重要なものであり、グローバル化、情報化や技術革新、少子高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症など社会の複雑な変化にも対応しつつ、震災や原発事故からの復興・創生等を踏まえ、子どもたちが、こうした社会の困難な問題の解決に取り組みながら未来を切り拓いていけるような、「ふくしまならでは」なものにしたいと考えています。

また、今年度は県政世論調査、高校生ワークショップ、来年度は教育公聴会を開催するなど、県民の方々からの幅広い意見を計画策定に反映させてまいります。



第3回策定懇談会(令和2年10月)